
あの子と俺

チョコボール2

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あの子と俺

【Zコード】

N9409X

【作者名】

チヨコボール2

【あらすじ】

これは作者のノンフィクションを書いた小説です
読んでくれるとうれしいかな

学校

俺の名前は浅井貴文

もちろん偽名を使ってるwww

それじゃあ、俺のノンフィクションの話を

K高校・図書室・

ここは俺が通っている学校の図書室

俺はいつも通り友達とカードゲームで勝負してた

「これでダイレクトアタック！」

「チツ！また負けた」

俺はカードゲームが弱かったから負けっぱしかった

「おい！浅井もう時間やぞ！SHRが始まるで行くぞー！」

「あつ！俺めんどいしサボるわ」

俺はサボり癖が付いていたから学校の授業をサボってばっかだ

まあ、他にも理由があるからだ

その理由はまたの機会に言おつ

そして俺はすることがなくボーッとしているあるものに田が止まつた
それはK高校が今年で80周年でその準備のために図書室でぬりえをしていた

「ねえ！暇なんやけどなんかすることない？」
「なら浅井先輩手伝つてよ！」

その中には仲の良い後輩もいて俺は話し掛けた
そして俺はそのぬりえをすることになった
まさか、そのぬりえの時に気になる人が出来るとはおもつてもなかつた

好きな人の出会い

俺はすることがなく図書室でボーッとしていて
ぬりえの手伝いをすることになった

「先に書つとくけど俺不器用やでなー。」

俺はそんなことを書しながら（祝）と云う漢字を赤色マジックで塗
つていた

「浅井さんとのあと遊戯王しません？」

コイツは前の話にも登場した後輩である
そうだなー君としておこつ

「これが終わつたらね」

俺は（祝）をラストスパートに差し掛かつていた

「先生ー祝塗り終わつたらなに塗れば良いー？」

俺は祝を塗り終わり図書室の先生ことE先生に書つた

「ならこちよつよりしへ

「何色で塗れば良いー？」

「黄色で塗つてくれればいいよ」

俺はさう聞くと黄色のマジックを探した

「えつとー黄色のマジックはと

「えーまあますねー。」

俺は黄色のマジックを探していた
すると後輩（女子）が黄色のマジックを俺に差し出した
今の俺はこの子のことが好きになるとはあきらめてなかつた
だが、この時から妙にこの子のことが気になりだしたのである

「はこひーー！ れどうべー！」

そういう子は俺に黄色マジックをさしだした

「あつがとうーー！」

なんだらうこの気持
この時俺はむかうとドキドキしていた
これが恋だと気づくのはもう少し先の話である

そして俺は受け取った黄色マジックでイチョウを塗り始めた
そしてぬりえを開始して20分くらいの時間が経過した

「ああーおわったあー！」

俺は腕を伸ばして言った

「手伝ってくれてありがとうーー！」

そういう子はペコリと頭を下げた

一体向なんだらうこの気持

もつひとつ仲良くなれたいなあとこの時俺は思っていた

そしてその日その子は帰つていった
まあ、家近いんだけどねｗｗｗ

翌日の放課後の図書室

俺はバイトが終わり急いで学校へ向かつた
その日はまだバイトに慣れない時で足がパンパンになつていて
ちょっと学校へ着くのに時間が掛かつた

そして俺は学校の図書室に着いた途端まず第1にあの子を探した
そして俺は図書室のカウンターでその子が居ることがわかりホッと
していた
ちなみにこの時すでに俺はあの子のことが好きなんだなと確信して
いたのである

まあ

今回のお話はこの辺りにしておこう
ちなみにネタバレになるけど作者は今この小説のヒロインとなるか
たとお付き合いをしています
はこうでもいいですねｗｗｗ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9409x/>

あの子と俺

2011年10月30日21時22分発行